

はじめに

2020年に「第2次曾於市環境基本計画」を制定し、「人と豊かな自然が共生して住みたくなるまち曾於市」の実現に向け、市民・事業者の皆様とともに様々な施策を展開してまいりました。

この間、持続可能な開発目標（SDGs）の理念が広く社会に浸透し、大量生産・大量消費型の社会からの転換や、プラスチックごみ問題への対応、さらには地域の固有種を含む生物多様性の保全など、私たちの暮らしを取り巻く環境課題はより複雑化し、多様な広がりを見せています。

本計画が期間の中間年を迎えるにあたり、こうした社会情勢の変化や新たな課題に的確に対応するため、このたび計画の中間見直しを行いました。

今回の見直しでは、廃棄物の減量化・再資源化による循環型社会の形成や、身近な自然環境の保全と活用といった観点を強化しております。また、単に環境を守るだけでなく、環境保全の取り組みを通じて、安全で快適な生活環境を確保し、地域経済の活性化やコミュニティの醸成につなげていく「環境と経済・社会の好循環」を生み出すことを目指して施策を再構築いたしました。

加えて、次世代を担う子どもたちへの環境学習や、地域に根差した歴史・文化と環境の調和という視点も改めて重要視いたしました。清浄な空気や水、美しい緑といった環境は、私たちの心身の健康を支える基盤そのものです。市民の皆様が日々の暮らしの中で感じる「快適さ」や「豊かさ」を大切にしつつ、無理なく続けられる環境配慮行動を広げていくことが、持続可能な地域づくりには不可欠であると考えております。

本市の誇る美しい景観や豊かな自然を、将来の世代へ確実に引き継いでいくためには、行政の取り組みだけでなく、市民の皆様一人ひとりの環境への意識と行動、そして事業者の皆様のご創意工夫あるご協力が必要です。

本計画が、私たち全員が改めて足元の環境について考え、行動する指針となることを切に願うとともに、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年3月

曾於市長 竹田 正博